

ん!
ワ

内会の活動
感じている

医者も知らない平穏死



△長尾和宏△長尾
クリニック院長、
日本尊厳死協会副
理事長。著書に
「平穏死」10の
条件」など。

自宅での平穏死を本気で望むなら、訪問診療と往診の両方をやっている在宅医を探してください。患者さんによく私が言っていることです。

すると、「訪問診療と往診は違うのですか?」と聞かれます。訪問診療は、あらかじめ決められた曜日のある時間に医師が訪問すること。往診とは、患者さんからの要請に応じて、臨時で訪問すること。

この2つの違いは大きい。もし訪問診療しか行っていない在宅医なら、深夜に家族の病状が急変し、「今すぐ来てください!」と電話をしても、「今すぐ救急車を呼んでください!」といった対応を受ける可能性もあるわけですから。

私は在宅医として、訪問診療に負けず劣らず、往診が重要だと思っ

訪問診療と往診を両方やる医師を選ぶ

ます。私の携帯電話には、300人の患者さんの電話番号が登録されています。日々、いろんな電話がかかってきます。「先生、今すぐ来て!」と深夜に電話で起こさ



写真はイメージです

るとご家族にとっては、「緊急時も電話で話ができ対応してくれる」ということが、安心感につながるのです。

訪問診療と往診をやっている在宅医をどうやって探せばいいのか? 医療は「人対人」。在宅でも診ます」と広告していません。頼めば訪問診療も往診もOKという医療機関もあります。

まず風邪など「軽い疾患」の時に近所のクリニックなどを受診し、「相性がいい」「信頼関係が築けそう」と思える医師がいれば、相談してみたいかがでしよう?

インターネットで探したり、ケアマネジャーなどに相談する手もありますが、医者に会ってみて、人を見て決めることが、在宅医選びのコツであると思います。